

# ●「地方創生」第二ステージの枠組み～地区ごとの「2階建て」方式

各地区（定住自治区）

## ●●地区人口ビジョン

(1)人口分析・予測  
このまま行くと、

(2)人口安定シナリオ  
こうして人口減少ストップ

(3)必要定住増加人数 + $\alpha$

＜毎年の定住増加目標＞

20代前半男女1組 + 出産増  
30代子連れ夫婦1組 + 若者流出減  
60代定年帰郷1組

実現

## ●●地区アクションプラン

(1)地区ぐるみの体制づくり → 地域自治組織

郷づくり会社等設立

(2)雇用創出プラン  
\* 合わせ技の仕事づくり

(3)生活支援プラン  
\* 複合的な小さな拠点

(4)子育てプラン  
\* 地元ぐるみの子育て

(5)定住促進プラン  
\* 地元つながりの中へ  
\* 求人広告づくり

支援

市町村全体

(1)人口分析・予測

(2)人口安定シナリオ

(3)必要定住増加人数

+ 出産増  
+ 若者流出減

人口1%の取戻し  
ビジョン・1万人保持

実現

(2)経済循環戦略  
所得1%の取戻し  
戦略

(3)拠点&ネットワーク戦略  
\* 広域的なハブ形成

(4)子育て戦略  
\* 教育・医療等の充実

(5)定住促進戦略  
\* 情報発信、支援制度

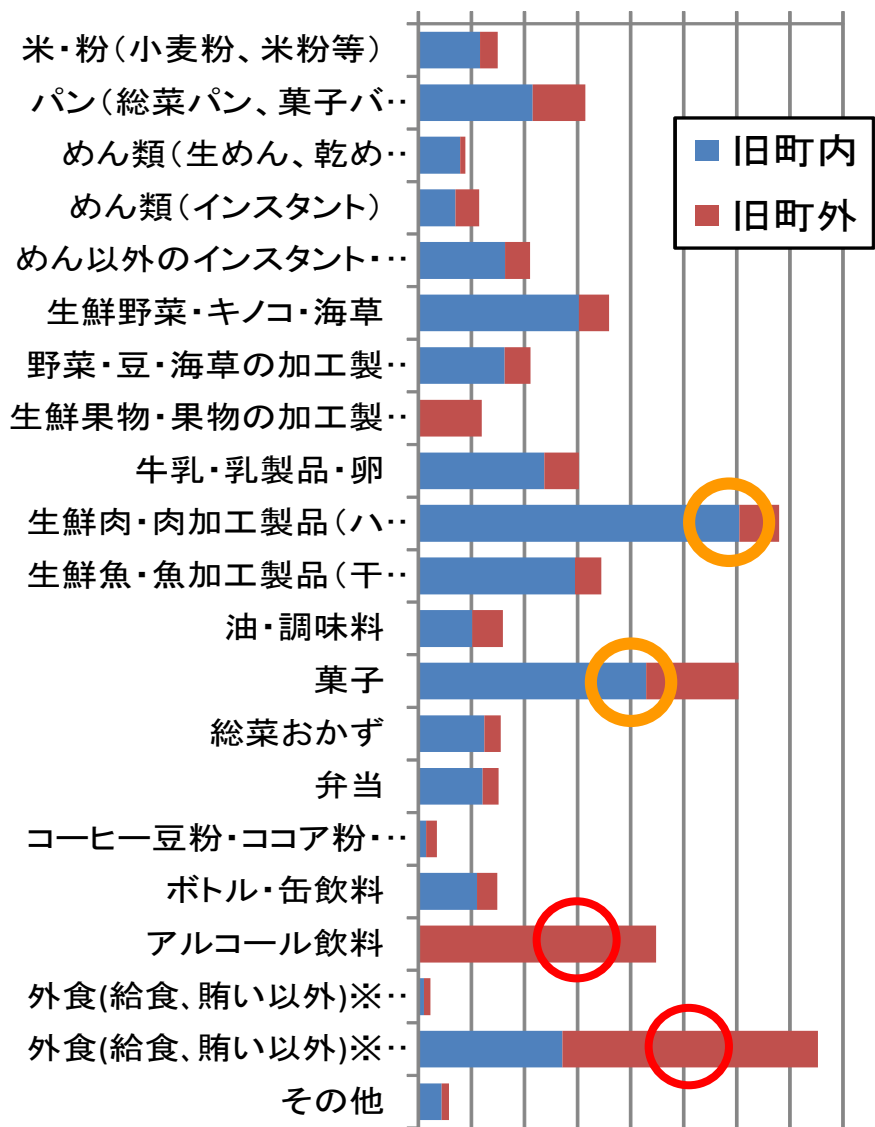
(1)分野横断の体制づくり = 本部 & 地区支援

「人口ビジョン」

「総合戦略」

# 3. 所得の1%取り戻す

## 1年間の食費支出 0 1 2 3 4 5 6 7 8 万円



# 子育て世帯の消費特徴と

## (1) 食費 潜在需要例 (by有田研究員) 購入先でみると

○外食、アルコールは町外購入が多い  
→1世帯当たり年間約8万円が町外移出

### 消費額でみると

○肉類、菓子類などの支出が特に高い  
→町内購入が多いが、町内生産でないため、  
販売手数料除く約10万円は町外移出

## (2) 住居光熱費

○灯油・ガス代など住居光熱は大部分町外  
流出→年間約11万円(○町平均)

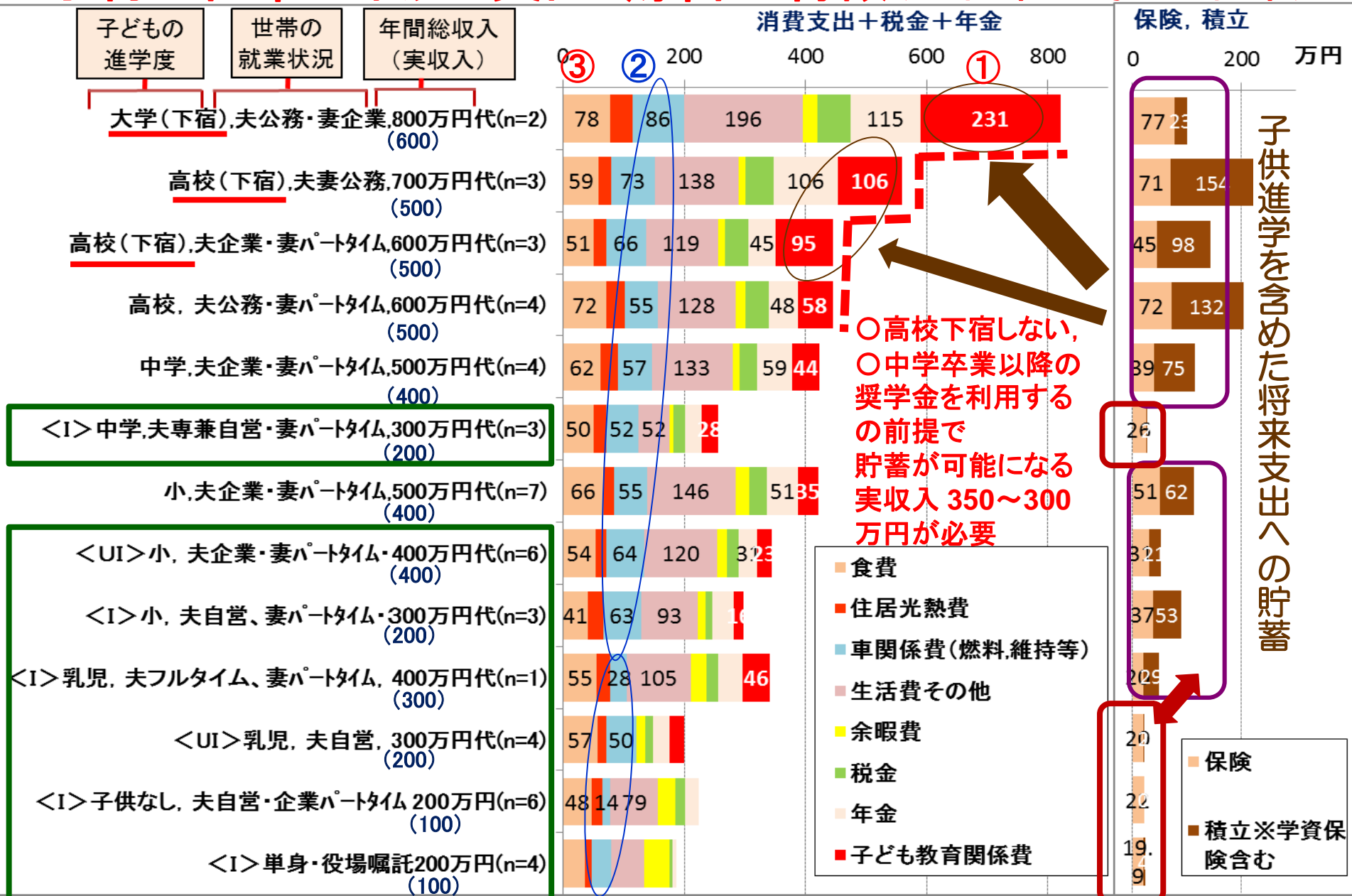
↓ **潜在需要として把握が可能**

- ①地域の世帯構成把握
- ②世帯構成踏まえ、サンプル設定し、本調査手法により食料や燃料の消費把握
- ③地域外への移出額把握(①×②)

→例えば○町の子育て世帯(18歳未満親族のいる950世帯)の4割が菓子の半分を地産地消型にできたら...

# 島根県の中山間地域家計調査の結果概要 (by中山間C有田研究員)

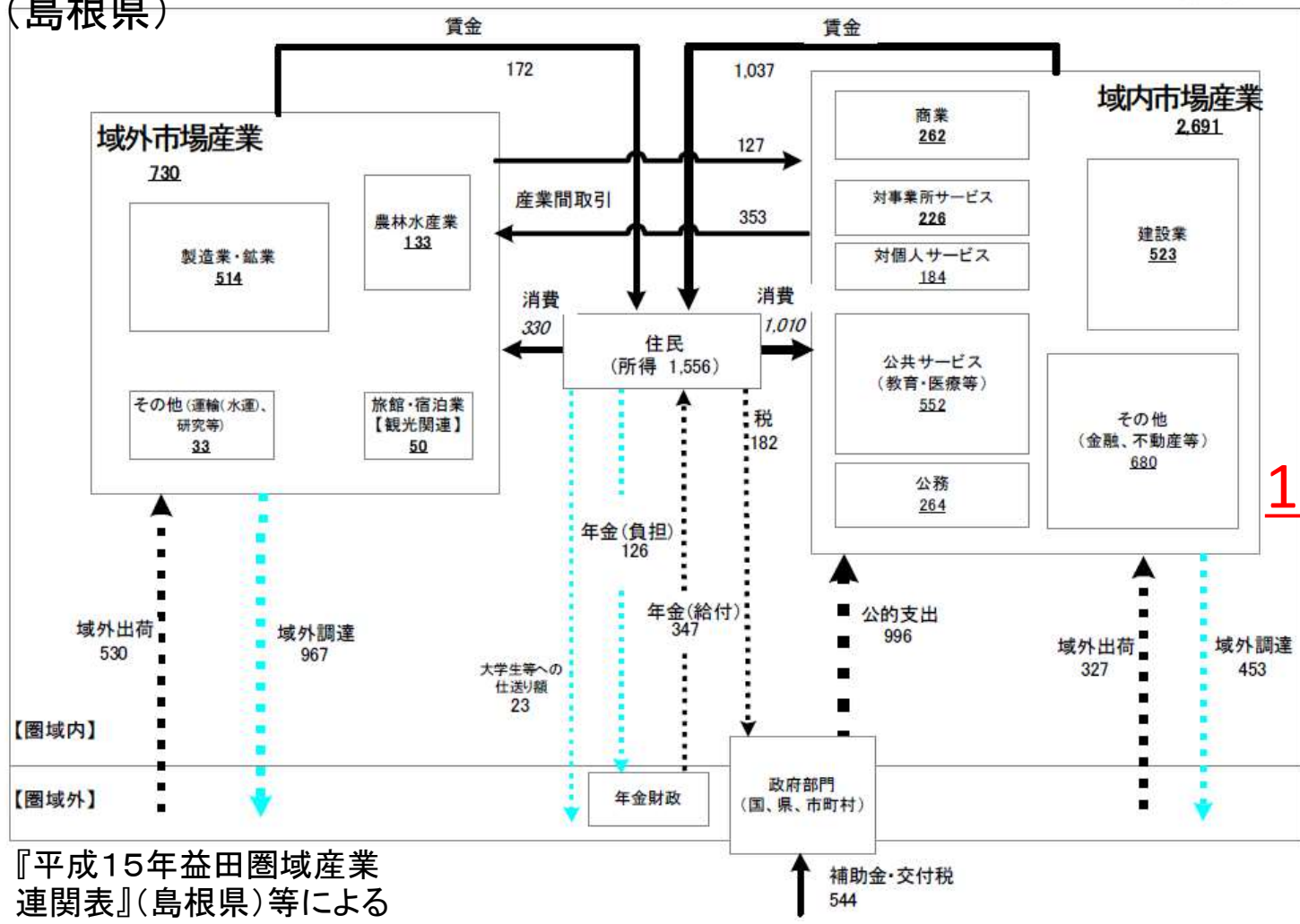
## 子育て世帯の収入・支出・貯蓄の特徴 (50世帯/対象120世帯)



# 高津川流域(人口7万)経済循環: 域外調達1,420億円 (H15)

(単位: 億円)

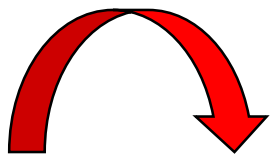
(島根県)



住民の所得額

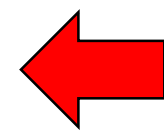
1,556億

にほぼ匹敵



域外流出の1%を取り戻せば、所得の1%取戻しが見えて来る

毎年、外から買う量を100から99に減らし、1ほど、地域内で原材料から創り始める



『平成15年益田圏域産業連関表』(島根県)等による

## 小売り業（食品）における地元からの仕入率、地元産率

業種	分野	年間仕入額	域内仕入率	地元産仕入率
産直市A	直売所	2億6221万円	72%	53%
産直市B	直売所	9320万円	61%	55%
大手全国スーパー	スーパー	16億3014万円	1%	1%
JAスーパー	スーパー	9319万円	8%	8%
大手コンビニA	コンビニ	9337万円	0%	0%
食料品店	一般店	5800万円	5%	5%

## 飲食・宿泊施設における地元からの仕入率、地元産率

業種	分野	年間仕入額	域内仕入率	地元産仕入率
レストラン	飲食	917万円	28%	13%
らーめん屋	飲食	384万円	17%	14%
蕎麦屋	飲食	265万円	4%	0%
観光施設A	宿泊	983万円	73%	54%
観光施設B	宿泊	810万円	5%	2%

\*全国・中山間地域4町の事業者調査より（2016年）

# (株)キヌヤの 地産地消率

\* (株)キヌヤ本社＝島根県益田市、島根県・山口県に21店舗

時点	割合
6年前	8.4%
現在	14.9%

毎年1%アップ



年商全体 132億円

地元産商品販売額 20億円

LBクラブ(ローカルブランド)

に607事業者が参加

地元仕入れ額

16億円

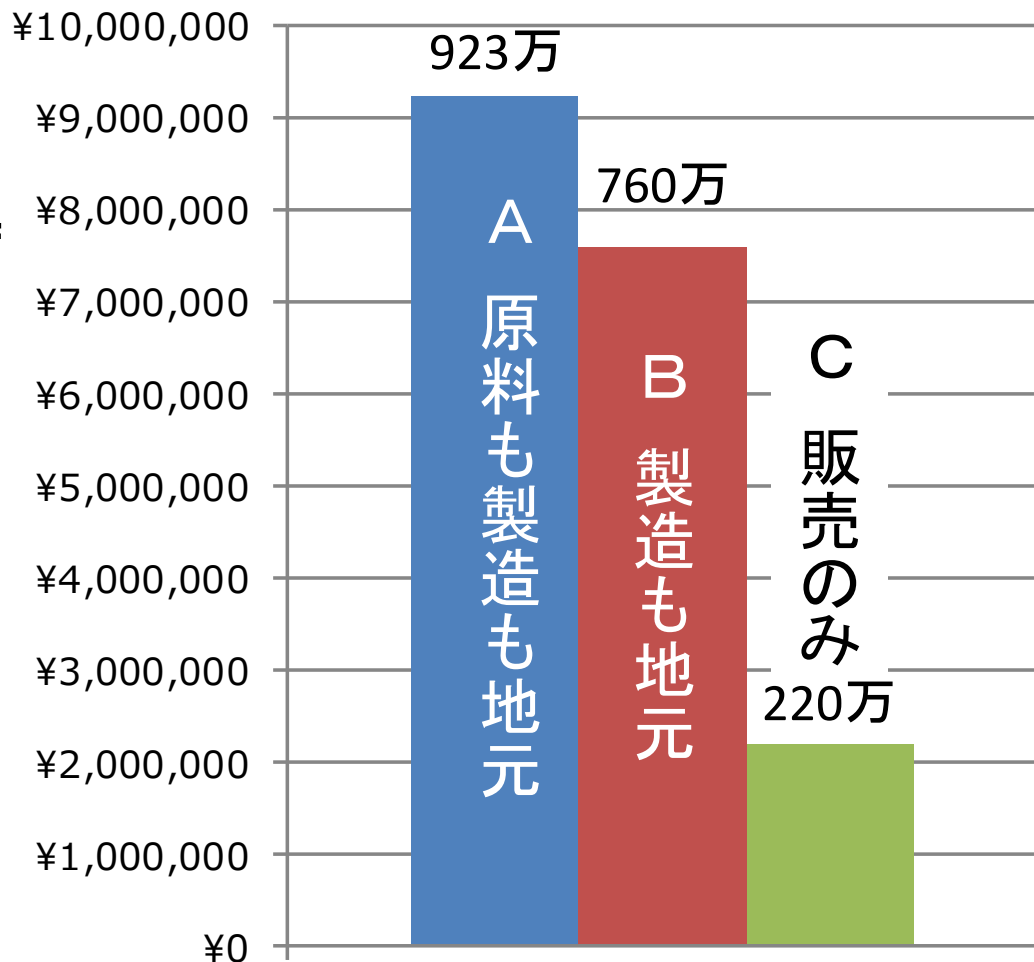
\* 安心でおいしい、地域の個性ある暮らし

# 応用分析①～地元でパンを作る意味

同じ2,000万円の売り上げのパン屋があったとしても



## 地元の所得創出額



「LM3」手法で生産段階まで追跡すると、地元所得創出額は大きく違う！

1個100円の域外のパン  
地元所得創出額 11円

50円の価格差以上！  
58円の所得差

1個150円の完全地元パン  
地元所得創出額 69円

\* 福井県池田町の取引状況データ(店舗、農家等)を基に試算。従業員はすべて地元雇用。

# 応用分析②～野菜を買うなら産直市

同じ2,000万円分の  
生鮮野菜を買ったとしても

「LM3」手法で生産段階  
まで追跡すると、地元所得  
創出額は大きく違う！

同様に

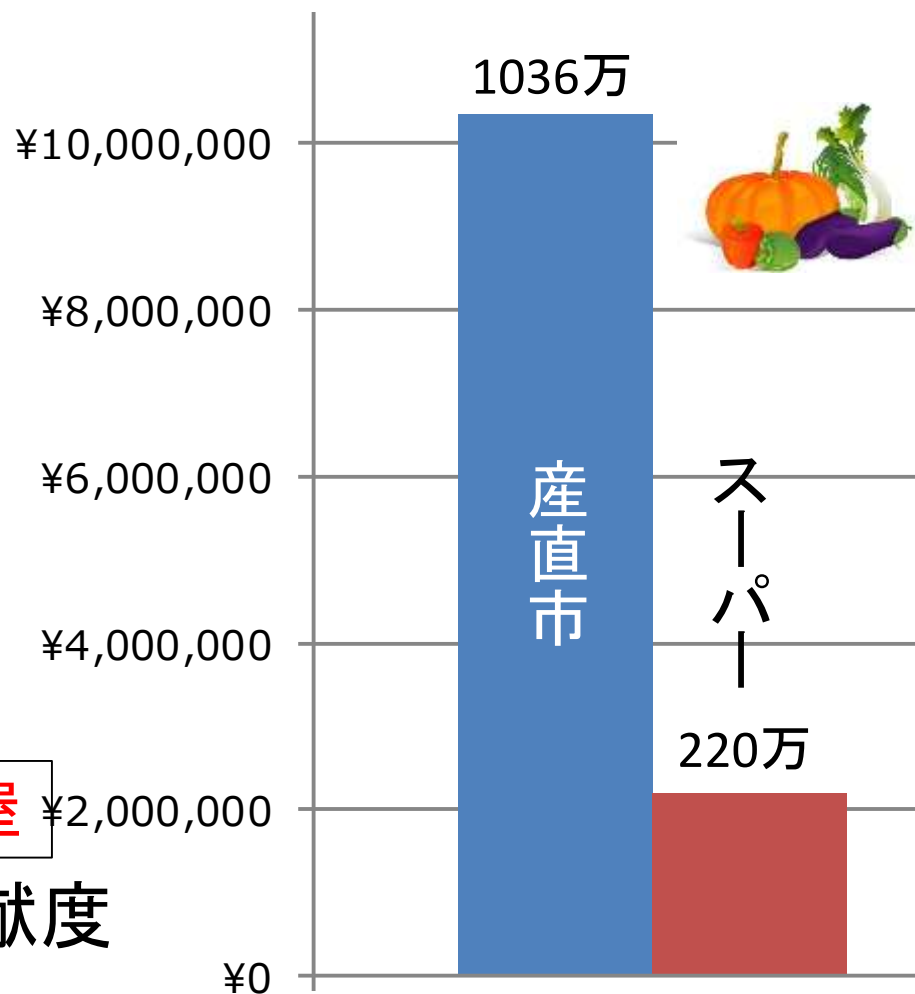
地産地消の農家レストラン

VS

全国チェーンのレストラン、居酒屋

等の店舗ごとの域内経済貢献度  
を比較できる！

## 地元の所得創出額



\* 福井県池田町の取引状況データ(店舗、農家等)を基に試算。従業員はすべて地元雇用。



手打ちパスタ



伝統チーズ



イタリア山村の豊かな生業



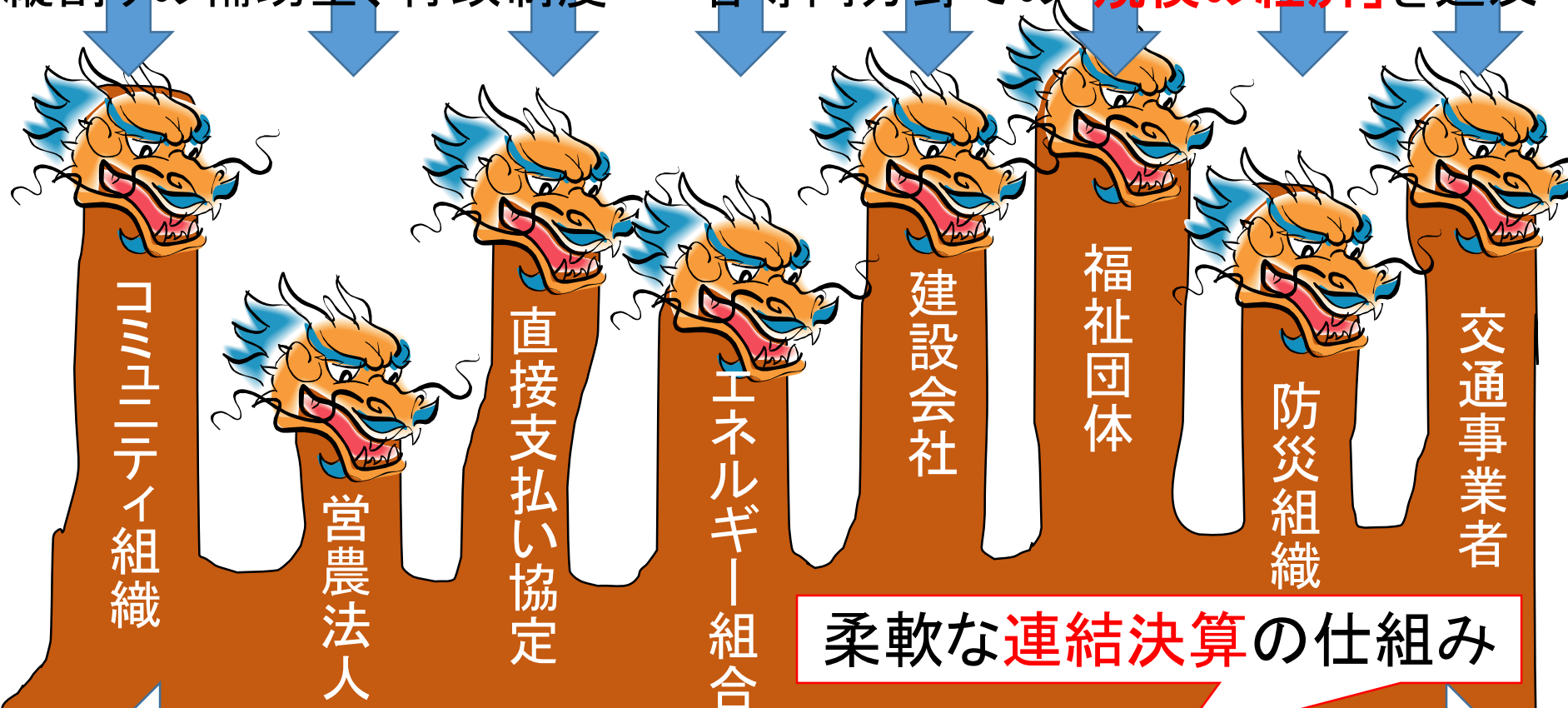
建具も地元の職人が



薪の活用

# 4. 合わせ技の組織・拠点を創る

縦割りの補助金、行政制度 ~各専門分野での「規模の経済」を追及



人材、資金、土地、施設を横断し、「範囲の経済」を発揮

「八岐大蛇(ヤマタノオロチ)」を地域に育てる！！

「自然の利子」(食糧・エネルギー・資源)で支える条件優位性

# 新たな地域運営組織の形成エリア

＝ 一次生活圈

平均的な人口規模

●コミュニティ・行政単位の比較

＝ 「小さな拠点」エリア

⇒ 「定住自治区」 のような自治と行政両面から位置づけへ

数万人～20万人程度

定住自立圏

合併市町村

総合病院  
大型店  
高校等の  
機能共有

二次生活圈

都市拠点とのネットワーク機能

1,000～数万人

旧市町村

<平成の大合併>

(中学校区など)

<昭和の大合併>

300～3,000人

昭和の旧村

(公民館区  
現・旧小学校区) 「小さな拠点」

一次生活圈

人口定住の基本的単位

結節機能

70～80人(中四国)  
200～400人(東北・北海道)

大字

<明治の大合併>

(藩政村) \* 地方によっては集落と重なる場合も

①コミュニティの地元単位

②医療・福祉・教育

・商業・交通等の一次機能

集落

\* 最も基礎的・伝統的な地域運営単位

集落単独では定住を支える基本機能や活動が困難

各集落とのネットワーク機能

組 (小字など)

# 邑南町出羽地区の取り組み

●コミュニティ × ●農業 = 地域発展

● 地域自治組織の立ち上げ  
(12集落→「出羽自治会」)

\* 総務部、生活部、交流部、産業部の設置

将来像の共有

● 「出羽夢づくりプラン」の作成

1,764万円

● 直接支払い11協定の大合併

会計事務

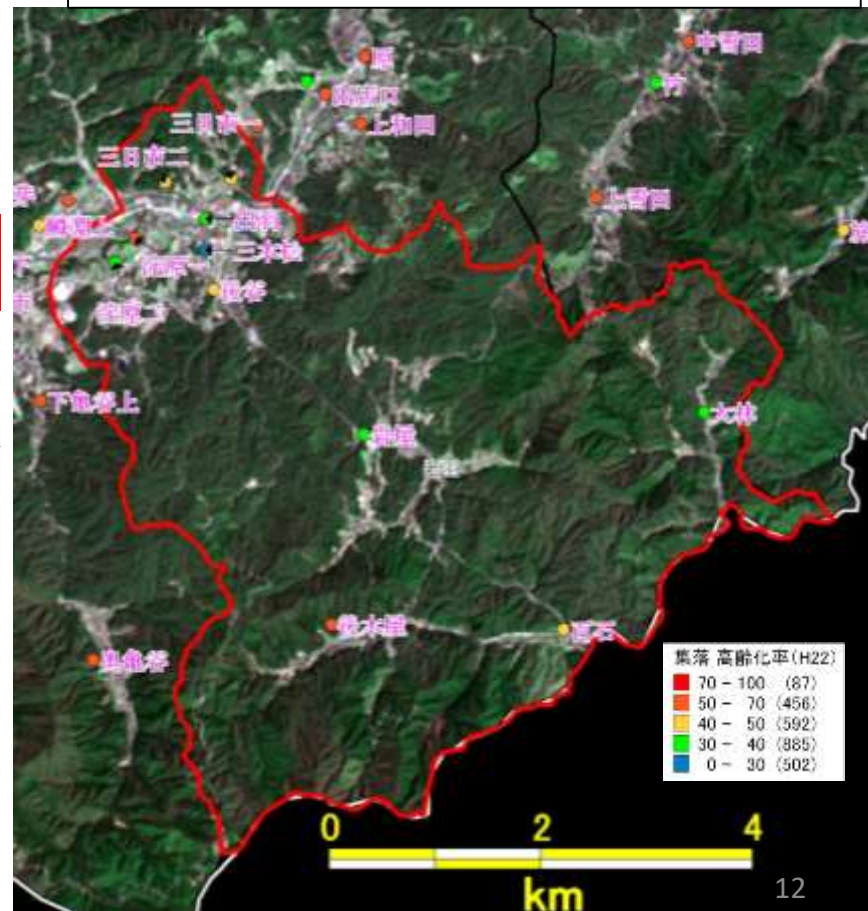
● 人材バンク(お助け隊)設立

● 地域マネージャー雇用

● 耕作放棄地2ha再生

人口913人、高齢化率37.8%  
集落数 12 (2010年)

出羽公民館区



# 出羽自治会

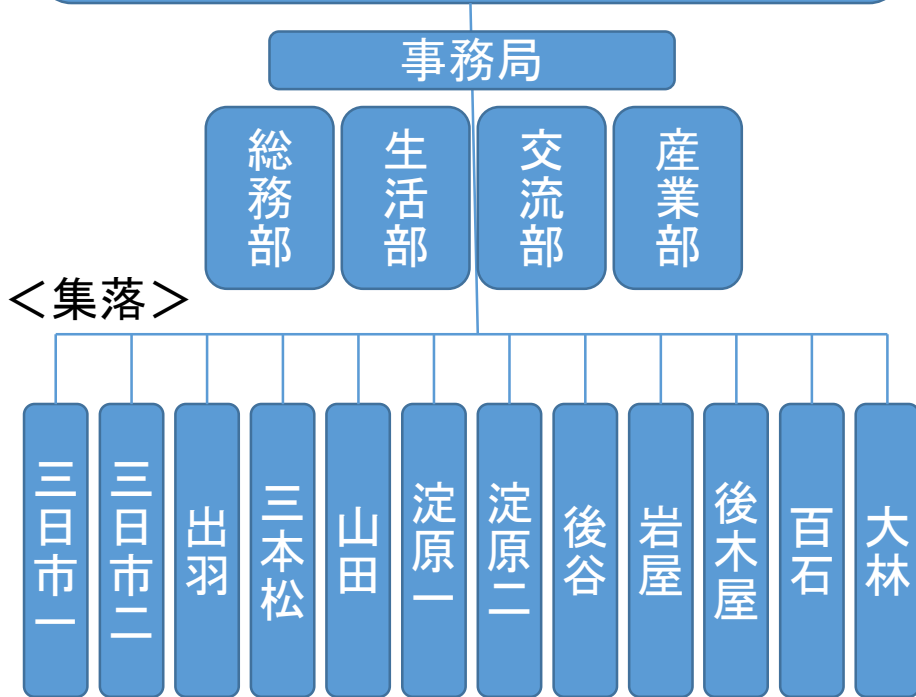
= 出羽公民館エリア



連携

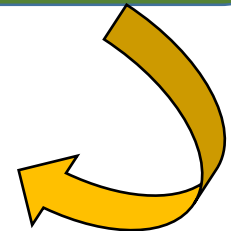
# 合同会社 出羽

自治会の機能だけでは難しい、収益事業、空き家対策、産業等について、機動的に対応できる実働部隊として2013年に設立。資本金539万円 出資社員17名（設立時6万円、6名）

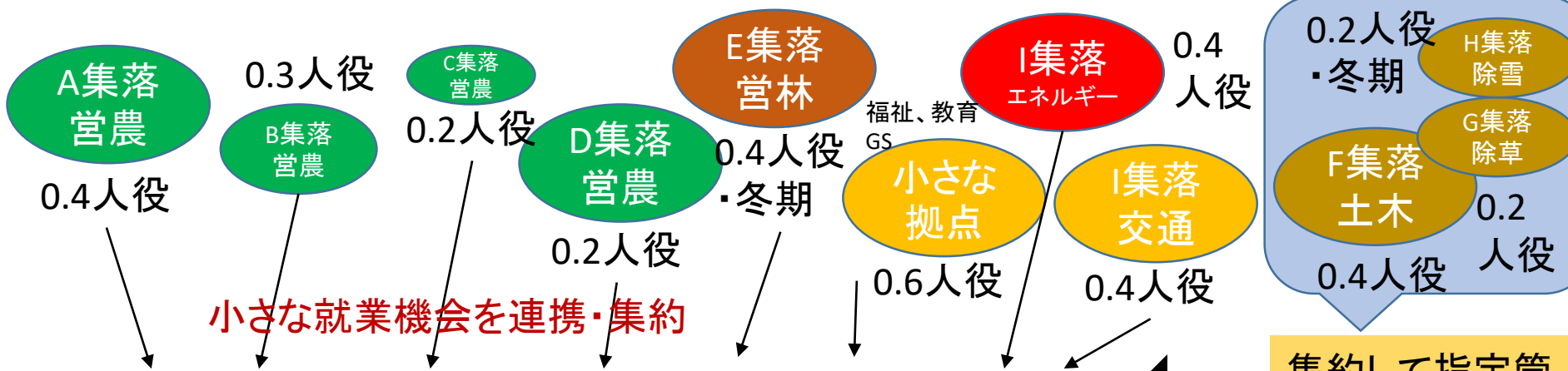


農業部門  
農地集積32ha  
放棄地活用  
新規就農支援

定住部門  
空き家活用  
(修繕、賃貸)  
起業支援



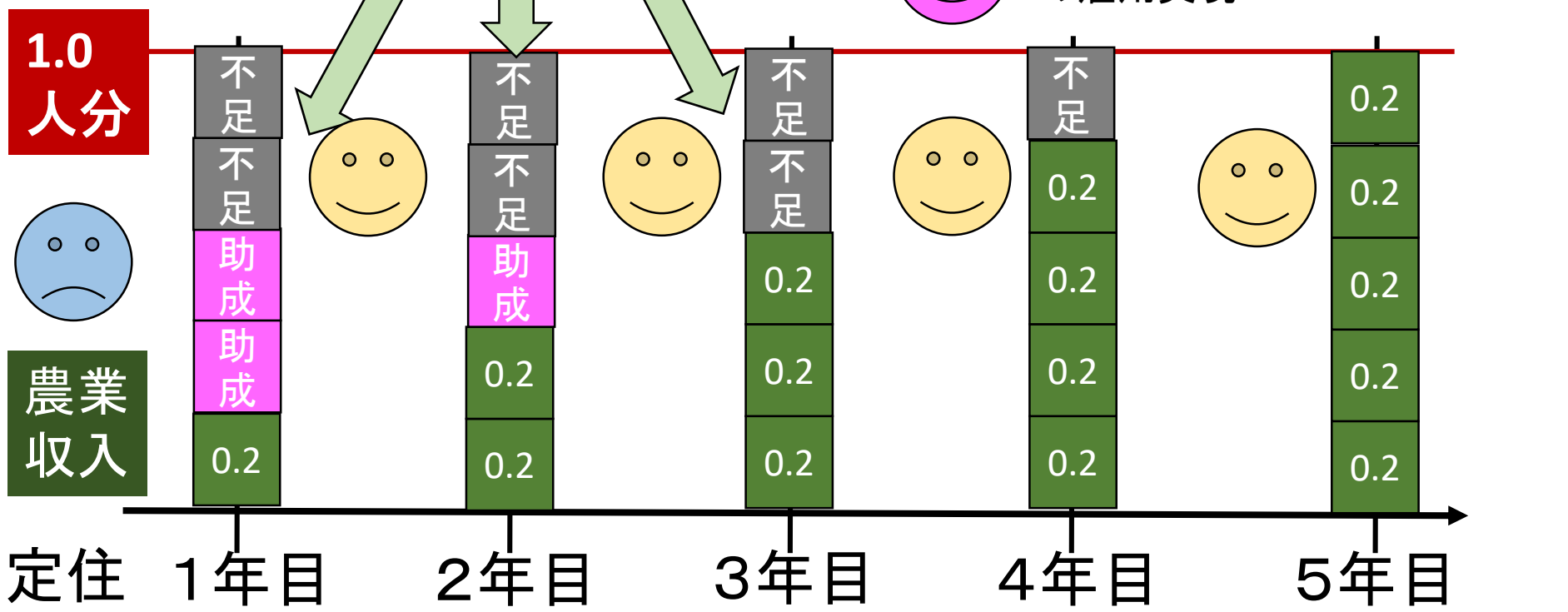
起業支援  
でパン屋も  
オープン



**集落・分野・時期を横断する複合型の事業体(ヤマタノオロチ型)**

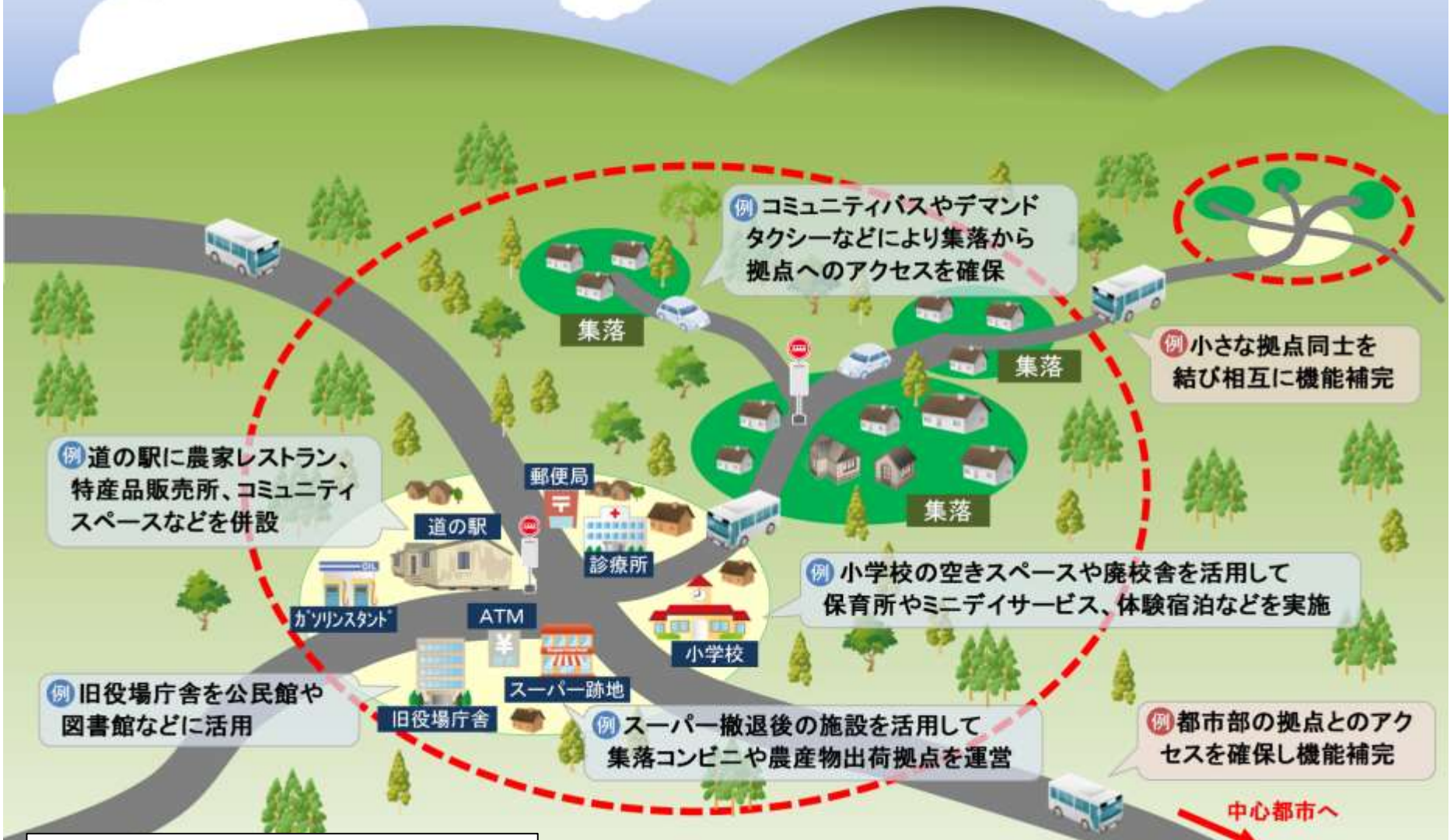
収入機会を配分、所得を補完

配偶者の雇用実現



# 国土のグランドデザインと総合戦略にも、集落地域を支える新たな複合機能拠点として「小さな拠点」構想が登場

## 地元にて定住と循環の「砦」を創る



※実践編 「小さな拠点」づくりガイドブックより

# 住民出資で村に共同売店が出来た！～四万十市「(株)大宮産業」



ガソリンスタンド  
売店  
肥料、苗販売  
地元米販売  
そして「たまり場」  
を複合経営



愛媛県との県境に位置する高知県旧西土佐村(現 四万十市)の大宮地区。四万十川の支流である目黒川に沿って家屋が点在する山間の集落だ。現在の人口は135戸301人、稲作を主にした農業が営まれている。この集落のほぼ中心に建つのが、小さなガソリンスタンドが併設された「(株)大宮産業」。住民の出資によって設立された共同売店である。写真も含め出典 [http://www.jimototaberu.net/report/15\\_01.html](http://www.jimototaberu.net/report/15_01.html)

直近5年間で社会増により人口安定化達成！